

2017年度 理事長所信（案）

一般社団法人おおらか青年会議所
2017年度理事長 原 政 人

はじめに

1980年、大泉町を中心として邑楽町並びに千代田村に在住若しくは勤務する青年53名が、この地域のことを考え、明るい豊かな社会、住みよい町づくりを目指すために集まり、大泉青年会議所を創立され、時代の変化と共に改変を経て、現在では一般社団法人おおらか青年会議所として青年会議所運動を続けております。そして、先輩諸兄諸姉が英知と勇気と情熱を持ち歩んでこられた青年会議所運動は、この地域に根付き、JC三信条である修練、奉仕、友情は、青年会議所運動を支える原点であり、オピニオンリーダーを育てる手法として、私たちに受け継がれております。本年度第37代理事長として、創立から脈々と受け継がれてきた青年としての志を、地域へ伝播し次の時代へ繋げる役割を担えることに対しまして、先輩諸兄諸姉には心より感謝を申し上げます。

修練を受け止め、自己啓発に励むことで、自身の成長は計り知れない

人は生まれてから成長を続けております。生まれた時は他の生き物よりも成長スピードは遅いですが、その分、脳を使い、理性持つことで、結果として他の生き物よりも成長し、多くのことができるようになります。修練とは人が成長する過程であり、他の生き物にはない行動であります。だからこそ、人は様々な環境にも適応し、変化の激しい社会でも生きていくことができます。この生きる力は、成長しようとする前向きな考えと、自身の能力の限界を少しずつ伸ばしていくことで養われていきます。そして、私たち青年世代こそ、人として成長を遂げなければならない時期であり、自己の開発をしなければならない時期であります。日々忙しく過ぎる環境の中にいるからこそ、自己開発の時間をつくりだすことで時間の価値を見いだすことができ、会社とは異なる組織に属するからこそ、組織の動き方や動かし方を学ぶことができ、様々な人と出会い協働するからこそ、現状把握と課題発見、その解決のための方針決定を行う素質や自分の意見を相手に伝えるスピーチ力等の必要とされる素質を磨くことができ、その過程でリーダーとしての人格形成にも繋がります。

青年会議所は、自己の開発という目的を見失わなければ、自身の成長する機会に溢れており、大いに利用してこそ価値が生まれます。今この時に成長する機会を逃しては、次、いつ同じような機会が訪れるのでしょうか。私たちは目的意識を持ち、自ら成長する機会を求め、その機会を十分に生かし、活動してまいります。

個人の利害を離れて、他人や地域のために尽くすことを考え行動する

青年会議所の存在意義は、奉仕であります。それはこの地域に青年会議所が創立された当初から変わりなく受け継がれてきた志であり、地域に根付かせたい運動でもあります。奉仕とはある

程度の拘束力のある中で行う労務であり、規律と具体的な成果が求められることとなります。他人のことや地域のことを考え、自己満足に終わることなく、課題や要望をしっかりと捉え、解決の方法を模索し、行動に移す。私たちは、自己の利益を求めるのではなく、自己の利益と他人や地域の利益を区別せずに、他人や地域の利益をも自己の利益と同様に、幸福を感じる心を持つことが必要です。個々が持つ素質を修練によって磨き、経験や知識を青年会議所活動や地域運動に活かすことが、青年会議所の奉仕であり、私たちは奉仕の心を持ち全ての事業を行ってまいります。

真の友情を育み、広げる同志

青年会議所での活動と運動を通して関わる人たちとは真の友情が生まれます。真の友情とは一朝一夕で生まれるものではありません。しかし、青年会議所では修練や奉仕活動を通じて、共に悩み、喜び、時には意見をぶつけ合い、お互いを尊重する場面が数多くあります。そのような時間を共に過ごすことでお互いの事を深く知ることができ、活動や運動の結果、共に達成感を得ることで共感し、真の友情に繋がります。

そして、おおらか青年会議所メンバーだけでなく、同じ志を持つ多くの地域において活躍されているJAYCEEと共に過ごす時間は、友情の輪を広げる大きなチャンスとなります。彼らは、私たちと同じように日々修練と奉仕活動を自発的に行う同志であります。このような仲間とは出会おうとしてもなかなか出会えるものではありません。仲間づくりに妥協はありません。多くの仲間と出会い、相手のことを尊重し、言いたいことを言い、やりたいことを実践してください。仲間との交流を通じて、あなたの全てを知っていてそれでもあなたを好んでくれる真の仲間と必ず出会えます。

おおらか青年会議所では、(公社)館林青年会議所との合同例会や、出向先での事業等においても仲間づくりに繋げることができます。メンバーが真の友情を実感できる一年となるように活動と運動を行ってまいります。

おおらか地域の魅力の集約と発信

私たちの活動拠点でありますおおらか地域は、大泉町、邑楽町、千代田町であります。それぞれの町には特色があり、多くの魅力がある地域であります。3町の魅力を集約し発信することができたらどうでしょうか。まだまだ気づいていない魅力もあるでしょう。町単体での発信ではなく、3町というステージで発信することができれば、可能性も広がると考えます。各々の町民からすれば、まずは自分たちの町のことを考えてしまうでしょうが、生活する上ではさほど違和感なく3町を行き来している現状であり、観光として私たちの地域を訪れる人々の殆どは自動車や鉄道を利用し、四方八方からこの3町に訪れます。その人々に3町の区切り意識はあまりないでしょうし、ややもすれば3町の外へも移動します。それぞれ特色のある魅力を活かしつつ集約し、発信することで、3町という地域全体が活性化するきっかけをつくりたいと考えます。町民が魅力とっていないことでも外からの人々の関心が集まれば町民の意識も変わります。そして、3町の魅力の発見や発信をするためには、行政並びに関係する諸団体と協働することが必要です。

また、一概に魅力と言いましても受けての年齢や性別等より、感じる魅力は人それぞれ違います。手法についても、人々が集まるお祭り会場やイベント会場等の不特定多数の人々に伝えることで効果を生む魅力や、特定した人々に伝えることで効果を生む魅力もあり、魅力の内容によっても変わります。協働する方々と共に、魅力の発信という効果を的確に与えられる内容とターゲット

ットを絞り、3町の魅力を発信する事業を行ってまいります。

わんぱく相撲おおらか場所

本年度、第18回目を迎えるわんぱく相撲おおらか場所は、地域の宝である子供たちの健全な成長を育むことができ、関係する地域の人々のコミュニティの形成に繋がるすばらしい事業であります。そして、子供たちの育成という目的を持つ地域の諸団体と協働して開催することは、私たちにとっても大変意味のあることであります。

正直、私は相撲のことにあまり関心のない子供でありましたので、青年会議所に入会して初めてこの地域に相撲の土俵があることを知りました。しかし、毎年事業に携わる中で、相撲を愛するこの地域のことを知るにつれて、考え方が変わっていきました。参加する子供たちが、土俵のうえで廻し一つのいいわけのできない状態でぶつかり合う取り組みや、取り組み後の子供たちの表情や態度を見ると子供たちには敬意の気持ちさえ生まれ、応援する大人たちの一喜一憂する姿は、我が子だけでなく、全ての参加者へ向けられており、この事業における子供たちへの環境はとてすばらしいものだと感じております。

この事業には、相撲への関心や地域を盛り上げる手法としても多くの可能性を秘めていると感じており、本年度も子供たちの成長と地域のコミュニティの活性化を目指し、大会運営を行ってまいります。

会議所であることは、全ての組織の根底になる

おおらか青年会議所は、おおらか地域（大泉町、邑楽町、千代田町）の青年が、会議により多くの事柄を決める団体であり、会議はロバートルールを用い、博愛精神からなる公平、平等等の権利に配慮して行われます。会社や私たちが属する様々な組織では、毎日多く事柄を決めながら進んでいることでしょう。個人が採決権を持つ事柄であれば良いのですが、組織の重要な事柄については、個人が決めることは必ずしも組織の考えとは一致しないことがあります。私たちは、関係する人々に対して、納得する意見を言い、組織としての方向性を決める責任を果たさなければなりません。

青年会議所では多くの時間をこの会議に当てることで、ロバートルールを身につけることが出来、会議に議案を上程することで、ディスカッション力、プレゼンテーション力も身につけることができます。本年度は、メンバー全員に会議の重要性を理解して頂くために委員会での会議を充実させてまいります。

地域を支える会員拡大

この地域の事を考え立ち上がった53名の青年、その信念に共感し情熱を燃やし、活動を続けてこられた先輩諸兄諸姉の足跡は、確かにこの地域に残り根付いております。しかしながら、近年おおらか青年会議所では会員数の減少に悩まされております。景気不安や人口減少による直接的な影響や地域に対する住民意識の変化等、様々な要因が考えられますが、社会や未来への不安は、昔も今も変わらず存在しております。私たちは、今存在する社会の不安を無くし、次の世代へ引き継ぐことにおいて、家庭や会社、地域において責任ある立場であることは変えようがありません。そのことを受け止めなければなりません。

会員拡大は会員数を増やすことは勿論ですが、青年としての志を共有できる仲間を増やすことが大切であります。青年会議所では、明るい豊かな社会、住みよい町づくりを目標に掲げ、自己の開発や奉仕活動と、多方面から目標に対する手法を模索し事業を行います。会員は、事業を通して様々な気づきや経験を積むことで、視野が広がり、地域への思いも深まり、地域の事を考え行動できる人材へと成長していきます。私たちは、今存在する社会の不安と向き合い行動をおこす地域のオピニオンリーダーを育てることのできる団体であるという自信と、誇りを持ち、メンバー一丸となって会員拡大を行ってまいります。

おわりに

私は、2012年度に入会し、青年会議所活動と運動を続けてまいりました。その活動と運動を続けていく中で、先輩諸兄諸姉や行政、諸団体の人々、多くの同志たちに出会い、様々な刺激や気づきを得ることができました。本年度はその集大成として、青年としての志を胸に、今までの経験を活かし、メンバーの先頭に立ち、メンバーには達成感や成長を与えるとともに、この地域の明るい豊かな社会の実現に向けて邁進してまいります。何卒、皆様のご協力、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

基本理念（案）

修練を受け止め、奉仕の心を持つ者に、人は共感し、人が集まる

基本方針（案）

- ・ 修練を受け止められる人材の育成
- ・ 奉仕の心をもてる人材の育成
- ・ 真の友情を育む交流
- ・ おおらか地域の魅力の集約と発信
- ・ 地域を支える会員拡大